

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか愛の家やまが館		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		～ 2026年 1月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各職員が毎月交代で活動予定表を担当しており、マンネリ化しないよう計画を立てている。	職員が増え、専門的支援が行えるようになった。	他事業所の機能訓練士との専門的支援方法の共有を行い、スキルアップを行う。
2	節分、ひな祭り、花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス等、季節のイベントを行っている。	保護者への声掛けを行って参加できるようにした。	地域の方々にも参加できるように計画を立てたい。
3	帰りの会の際に質問を児童に行ってコミュニケーション能力の向上を図っている。	その日の出来事を振り返ってルールの確認を行っている。	日頃の活動にも自分の考えや伝えたい事等発表できる機会をつくる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との会話できる時間が少ない。	帰りの送迎の際に会話するのみである。	保護者会を定期的に開催して話を長めにできる機会を設けるようにしていく。
2	高学年になると活動への参加が難しい。	下校時間が遅くなったり活動への興味が薄れてきている。	活動内容を見直して短時間でレベルに合うものを行えるようにする。
3	安定した職員の確保	送迎時間がバラバラで職員が必要となり支援が行き届きにくい時間帯がある。	職員の確保をするために求人サイトへの強化を図る。